



清流 news

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1

Tel 042-514-8309

発行日 1月・4月・7月・10月

Vol. 126
発行
日野市
環境共生部
緑と清流課

第10回 あさかわ写真コンクール ～しぜん・ひと・まち～

あさかわ写真コンクールは、日野市と八王子市の両市を流れる浅川を、源流から多摩川の合流点までひとつの流域として捉え、良好な水辺環境と心豊かな浅川流域のまちづくりを目指すため、浅川流域連携事業のひとつとして行っている催しです。

当事業も皆様に支えられ、今年で節目となる10回目の開催を迎えることができました。また、応募総数も360点と昨年を上回る結果となり（昨年は312作品）、応募していただいた方々の浅川に対するたくさんの想いがより一層伝わってまいりました。その中から、特に優れた作品を選考しましたので、最優秀に選ばれた2作品をご紹介します。優秀賞以下の作品についても、次ページにて一部掲載していますのでご覧ください。



一般の部 最優秀賞



『晩秋』

中学生以下の部 最優秀賞



『川にうつる夕日』

佐々木 結衣

例年であれば、入選者の方々にお集まりいただき表彰式を開催しておりますが、今年度は新型コロナウイルスの影響を考慮し、中止としました。そのため、入選者の方々には個別に表彰状と、協賛企業であるカシオ及びコニカミノルタより賜りました副賞を贈呈致しました。

今年度もたくさんのご応募ありがとうございました。
この活動が少しでも、浅川の保全に繋がれば幸いです。

第10回 あさかわ写真コンクールの結果

□作品募集期間 令和2年4月20日～令和2年9月2日

□応募作品数 中学生以下の部 48点 一般の部 312作品 計360作品

中学生以下の部	
最優秀賞	
川にうつる夕日	佐々木結衣
優秀賞	
浅川水中線路？	梅崎 哲平
桜咲く頃	水口 信綱
日野市長賞	
青空広がる浅川	伊東 岳洋
八王子市長賞	
緑の向こう	高島 嘉乃
佳作	
川音にさそわれて	平田 実暉
雉も鳴かずば撮られまい	松浦 航
夏休みの南浅川	木村 好花
行く川の流れは絶えずして	粟埜 千洋
冷やしまくら	篠原 瑞那
夏の川と雲	川口すみれ
夏の思い出	市村 望夢



中学生以下の部 優秀賞



『浅川水中線路？』 梅崎 哲平

中学生以下の部 優秀賞



『桜咲く頃』 水口 信綱

中学生以下の部 日野市長賞



『青空広がる浅川』 伊東 岳洋

中学生以下の部 八王子市長賞



『緑の向こう』 高島 嘉乃

一般の部	
最優秀賞	
晚秋	中西 隆
優秀賞	
浅川の雪景色	小林 隆一
どんど焼き	渡辺 邦昭
日野市長賞	
ジャンプ	村上 逸郎
八王子市長賞	
帰り路	森 真一
佳作	
駒形公園のダイヤモンド富士	岩井 満夫
春の気配	野村 國男
つかまえた！	伊藤 完
夜桜とふれあい橋	小川 圭太
古道橋より「雪の南浅川」	萩原 真弓
天空の城	中川 圭二
波紋	當麻 勝正
秋雲湧く、長沼	設楽 誠一
大空に舞う	渡邊 敦子
雪桜	岡田 史郎

一般の部 優秀賞



『浅川の雪景色』 小林 隆一

一般の部 優秀賞



『どんど焼き』 渡辺 邦昭

一般の部 日野市長賞



『ジャンプ』 村上 逸郎

一般の部 八王子市長賞



『帰り路』 森 真一



毎年10月は緑と清流課において「環境月間」と定めており、日野市の水と緑を通じてひとりひとりが自然環境について考え、保全するための意欲・関心を養う事業を実施しています。

事業の中では、①緑と清流ポスターの展示 ②ミニ水族館 ③日野用水クリーンデーをそれぞれおこなっています。

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、一部の事業は規模を縮小しましたが、無事に実施することができましたので、今年度の活動をそれぞれご紹介します。

1 緑と清流ポスターの展示

市内の小・中学校の生徒さんが「緑と清流」をテーマに描いたポスターを市役所本庁1階に展示しました。毎年多くの応募があり、子供たちの環境を守りたいという想いが伝わってきました。展示期間中は、来庁者の方々も立ち止まって作品を鑑賞する様子がうかがえました。子供たちの想いが伝わり、ひとりでも多く環境の保全に関心を抱く方が増えてくれれば良いと思います。



2 ミニ水族館

環境月間中、市内の用水路に生息する水生生物を本庁1階に展示しました。ご覧になった方には、普段なんとなく見かける用水路には実はこんな生物がいたんだという発見と、生物を保全するために用水路の維持管理をするということの大切さ等を知っていただければと思います。



3 日野用水一斉清掃

例年、環境月間の一環で「日野用水クリーンデー」として、市民の方の参加を募り日野駅からよそう森公園にかけて、日野用水の清掃活動をおこなっています。

今年度は、市民の方に参加していただくことが難しかったため、市職員と土地改良区の方々で実施しました。

実施に当たっては、職員の間でも、マスク着用等細心の注意を払い、新型コロナウイルス感染拡大の予防に努めながら清掃を行いました。



水門紹介～平山連合用水樋管及び取水口～

滝合橋右岸沿いを下流へ少し歩くと、平山連合用水の水門が見えてきます。この水門には門が二つあり、上流の平山転倒堰から来た水を降雨時や台風等の際には浅川へ（樋管）、もう一つ（取水口）は平山用水へと送る役割を担っています。また、前号で紹介した向島水門同様に電動開閉を可能とした水門でもあります。平山、南平、高幡の三つの用水路を通水させる重要な水門です。

普段は浅川側の水門は閉めて用水路側へ通水させていますが、台風などの大雨災害時は逆に用水路側を閉め、浅川へ流すように調節しています。



平山連合用水樋管



(C) 2017 PASCO CORPORATION.
(C) 2017 INCREMENT P CORPORATION.

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

かつて東京穀倉地帯と呼ばれた日野市には、江戸時代に多摩川・浅川からひかれた農業用水路が今も市内を網の目のように流れています。これら水路の総延長は116キロにも及ぶといわれています。また、市内には数多くの湧水が湧いているなどたいへん水環境に恵まれています。

日野市では、こうした恵まれた水環境を次世代に伝えるため、清掃・維持作業など様々な活動を行っています。一方で、市民の皆さまの水への関心も非常に高く、多くの方が身の回りの水辺を自ら清掃・維持してくださっています。

このような、ボランティアで水辺維持の活動をされている皆さまを少しでも支えることができれば生まれたのが「日野用水守制度」です。「用水守制度」は日ごろ活動をする範囲を決め、あらかじめ「用水守」として登録いただくことで、万一の事故に備えた、市民総合賠償補償保険の対象者となります。市では、今後も市と市民の皆さまで協力して良好な水辺の環境を維持管理・保全をしていきたいと考えております。

問い合わせ

日野市緑と清流課

☎ 042-514-8309

用水守募集

日野市緑と清流課では、「用水守」として市内の用水路の清掃活動をおこなって下さる方を随時募集しています。



清流ニュースにひとこと

清流ニュースに、「こういう記事を載せて欲しい！」や「こんなイベントを企画して欲しい！」など、皆さんからのご意見・ご要望を募集したいと思います。次号以降の清流ニュースの編集の参考にさせていただきます。

宛先

(お手紙、FAX、メール等でお願いします)

日野市役所 環境共生部 緑と清流課
清流ニュース担当宛て

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1
FAX 042-583-4483
メール seiryu@city.hino.lg.jp

日野市は年間通水をしています

皆さん、日野市の用水路は冬でも水が流れているのをご存じでしょうか？用水路の一般的なはたらきは主に、農業用水を田んぼや畑に運ぶことです。そのため、農業を行わない期間（非灌漑期）には水を取水する必要がなくなるので、多くの市町村では水門を閉めたりして用水路に水を流さなくなります。そのような中日野市では、「日野市清流保全に関する条例」（以下、清流保全条例）に基づき、年間通水という年間を通じて用水路に水を流す活動をしています。年間通水は、農業用水を使わない冬季期間にも及ぶため、市職員と各用水組合と協力・連携し冬場の維持管理をおこなっています。

実際に、水を流し続けることで悪臭や堆積物を防ぐ等、用水路を美化するはたらきがあります。それにより、水路内に生物が生息できるような環境が形成され、清流保全条例（第4条）で謳われている自然環境及び生活環境と調和した河川を促進させることにも繋がっています。他にも、水の郷としての先駆的な発信のため等、いろいろな目的から実施されています。

このような活動を通じて、今後とも日野市の環境美化向上を目指し、行政と市民が一体となって用水路を守り続けていければと思います。



市の花 「菊」の祭典

今年も日野市では、10月から11月にかけて、菊花展、菊花コンテストなど、菊にまつわる祭典・行事が開催されました。

今年は例年と異なり、新型コロナウィルス感染症の影響で菊づくりに限らず、農産物の生産や園芸に携わる方々にとり

ましても、大変厳しい環境がありました。このような大変厳しい状況の中でも菊花展を開催できたのは、長年の栽培経験による技の工夫や、肥料づくりから土づくりまで、手入れを一日も欠かせない日頃

の努力の賜物であります。

高幡不動尊で、菊を背景に七五三の記念撮影をされる光景は、誠にほほえしい、喜ばしいものでした。

素敵な写真を掲載しましたので、会場に足を運べなかった方もお楽しみください。



市内一斉清掃



地域の子どもたちも
たくさん参加して
くれたよ！



令和2年度 秋の一斉清掃

収集量 (kg)	可燃	31,210
※概算	不燃	850

市では、「日野市みんなでまちをきれいにする条例」に基づき、毎年5月（春）と11月（秋）の最終日曜日をみんなでまちをきれいにする日として市内一斉清掃を行っています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、5月（春）を中心としたほか、11月（秋）についても、希望する団体のみで、（マスク着用など）必要な感染対策を講じたうえでの実施を呼びかけました。

ランティア等、さまざまな団体が協力しながら清掃することで、みなさんの交流を深め、地域のつながりを強めるきっかけづくりとしていただければ幸いです。

実施にあたっては、毎回、市内の大学の学生のみなさんや野球チームの選手たちに協力をいたしており、今回も自治会の方々と協力し清掃を行ってくれました。

このように自治会や学生ボ



公園名の 由来



埴輪公園 (街区公園156)

所在地・新町5-15-11／面積・1,000m²／開園日・平成16年9月1日

所在地・新町5-1-16／面積・1,000m²／開園日・平成16年9月1日

多摩川に沿う日野市の西北部は、天正年間（1573-1592）



日野台地の北縁にあるこのあたりは、七ツ塚古墳群を中心には各時代の遺跡が広がっています。

明治初年、島田畠を結った女性の埴輪や、兜を被った武人の埴輪が発掘されましたが、その後しばらくして、武人の埴輪はなくなりてしましました。明治27年、調査のためここを訪れた考古学者の鳥居龍藏は、この女性の埴輪を東京帝国大学人類学教室に持ち帰り、同教室に保管陳列しているのです。

現在これらの埴輪は記録のうえでしかみることができません。このあたり

せんが、このあたりから考古学上の貴重な発見がなされたことは、記憶に留めておきたいものです。

「東光寺西」の台地上にあり、日野から八王子へ通ずる主要な道路が通っているところであります。

かでも最も西に位置する字



(C) 2017 PASCO CORPORATION.

(C) 2017 INCREMENT P CORPORATION.

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。



水辺のある風景 日野50選 選ばれた水辺を紹介します

④ふれあい橋・向島用水取水堰

「ふれあい橋」は、平成3（1991）年にできた自転車・歩行者専用の吊橋です。橋の完成で、万願寺から高幡不動駅へのアクセスが良くなり大変便利になりました。橋からの見晴らしも素晴らしい、日野でも有数の富士見スポットになっています。橋の右岸側

（高幡不動駅に近い側）の川辺には親水テラスがあり、お天気の良い日には水辺に多くの人が集います。最近はこの場所でバーベキューをする人も多くいてごみの問題などもあるようですが、一人一人の心遣いで大切な水辺を美しく保つてほしいものです。

ふれあい橋付近の浅川は「浅川潤徳水辺の楽校」のフィールドでもあり、月に1回程度、子供達を対象とした水辺のイベントが開催されています。夏の水遊びでは導水堤の内側に作られた「浅川プール」で飛び込みをしたり、川でゴムボートや魚とりをしたりと、楽しく遊ぶ子供たちの姿が見られます。



ふれあい橋と水辺のテラス



導水堤と新しくなった水門

日頃より、日野市河川占用業務にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

毎年「日野市普通河川等管理条例」に基づき、用水路等の普通河川を占用されている皆様に普通河川等占用使用料請求書及び納付書を送付し、占用料金を納付していただいています。

4月中に請求書及び納付書を送付する予定となっていますので、お手元に届きましたら納付書に記載されている所定の機関にて納付していただきますようお願い申し上げます。

なお、河川占用の継続申請の手続きの用紙を2月に該当の方へお送りする予定なので、ご不明な点等ございましたら緑と清流課までご連絡下さい。

また、皆様の占用されている橋梁等におきまして、規格や所有者等の変更があるようでしたら、その都度緑と清流課までお問い合わせください。

今後とも日野市政へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

普通河川等占用使用料 納付のお知らせ

問い合わせ

日野市役所緑と清流課 水路清流係
042-514-8309 (直通)

名前の通り山地性のカエルですが、丘陵地でも見ることができます（市内では近縁のニホンアカガエルも記録されています）。毎年2～3月ごろになると、浅い池や水田の水たまりなどに集まり、「キャ

冬になるとヘビやトカゲ、カメ、カエルといった両性類、爬虫類の姿を見ることはなくなります。彼らは冬の間は地中や水底などに潜り、じっと冬眠をする事で寒い冬を乗り越えているのです。そんな中、産卵のためにいち早く冬眠から目を覚ますカエル達がいます。

●ヤマアカガエル

名前の通り山地性のカエルですが、丘陵地でも見ることができます（市内では近縁のニホンアカガエルも記録されています）。毎年2～3月ごろになると、浅い池や水田の水たまりなどに集まり、「キャ



早起きなカエル達



●アズマヒキガエル

ゴツゴツした大きなカエルで、イボガエルやガマガエルとも呼ばれます。2～3月ごろになるとオスが先に冬眠から目覚め、産卵場所となる水辺に向かいます。その後、遅れて目覚めたメスがやってく

ると、沢山のオスがメスに群がり奪い合います。その時のオスは動くものには何でも抱き着いてしまい、メス1匹とオス2匹が三段重ねになつて

み、その中には一匹当たり1,500～8,000個もの卵が入っているそうです。たくさんの中には卵が孵化すると、黒い池では卵が孵化すると、黒い小さなオタマジャクシがまるでイワシの大群のように群れになって泳ぎ回ります。

●子供は水中、大人は陸上

み、その中には一匹当たり1,500～8,000個もの卵が入っているそうです。た

様、新年明けましておめでとうございます。1月というこの冬も本番に差し掛かり、寒さ厳しくなってまいりました。今年は新型コロナウイルスの影響で外出する機会も少なくなり、少し寂しいお正月となりました。家でできることがあります。1月と2月の普及で書くことが少なくなった年賀状をたまには書いてみようかと思います。

終わりに、現在日野市は財政非常事態宣言にコロナ禍が重なり、事業の見直しも必要に迫られています。本誌の発行に影響が及ぶこともあるかもしれませんのが、有意義で明るいニュースをお届けできるよう努めてまいりますので、引き続きご愛読いただきます



み、その中には一匹当たり1,500～8,000個もの卵が入っているそうです。た

様、新年明けましておめでとうございます。1月と2月の普及で書くことが少なくなった年賀状をたまには書いてみようかと思います。

終わりに、現在日野市は財政非常事態宣言にコロナ禍が重なり、事業の見直しも必要に迫られています。本誌の発行に影響が及ぶことがあるかもしれませんのが、有意義で明るいニュースをお届けできるよう努めてまいりますので、引き続きご愛読いただきます

あとがき